

宇城市への期待

合併して1年。市内に住む人たちは市にどんな期待を持っているのでしょうか。聞いてみました。

港を生かしたまちづくりを

港を生かしたまちづくりの方向性を明確にしてほしいです。しっかりとした指針ができたなら、それに合わせてわれわれ商工業者もいろいろ考えて頑張りますし。

まちが活気を取り戻すためにも、今までと違う新しい施策が必要だと思います。

三角隆史さん
(三角町三角浦)



各種大会の出場規則の改定

ミニバレーなどのスポーツ大会で出場規則が各町で異なり、「その町在住者がチームにいないと出場できない」などがあります。せっかく市になったのでそういった垣根を取り除いてほしいです。



對田吉晃さん
(不知火町長崎)

緑を残したまちづくりを

子育てをする立場から、小さい子どもでも遊べる公園、広場をもっと増やしてほしいです。年齢に関係なくすべての住民が交流できるようにまちを、また環境に配慮して、建物を増やすのではなく、緑を残したまちづくりを願っています。

大平恵美さん
(松橋町南豊崎)



住民と観光客が増えてほしい

住民と観光客が増えてほしいですね。それに店も。家から近いので大矢野町(上天草市)によく買い物に行くんです。市内にもっと店ができたら便利になると思います。そのためにはやっぱり住民が多くなるといいですね。車の通りが増えると自然と店も多くなると思います。また私の同級生は、ほとんど市内にいません。一度市から

木村英治さん
(三角町波多)



出て行った人たちが戻ってくるためにも、働き口が増えてほしいです。

山田光代さん
(松橋町松橋)



子ども向けのイベントを

合併したという実感は今のところありません。市内にはウイングまつばせ

総合地域スポーツクラブを

スポーツが好きなので、総合型地域スポーツクラブの普及してもらいたいです。

藤本美紀さんと健太君
(不知火町高良)



みんなが自慢できるまちに

今、商店街の活性化を通じ、まちづくりに参加しています。が、これまでは行政任せであったような気がします。

新しく「宇城市」になったことを契機に、これからは、そのまちに住む住民(高齢者から子どもたちまで)の声色濃く反映され、その地域の特徴・特性を生かしたまちづくりが進められることを期待します。そうすることで市民の輪が広がり、まちがきれい

宮本晴隆さん
(小川町西北小川)



になり、ひいては子どもたちが自慢できるまちになるのではないのでしょうか。

これから市はどうなるの？



今後10年間のまちづくりの基本的な方針となる、第1次宇城市総合計画をひもとくと、次のようになります。

◆将来都市像
美しい田園風景と不知火海の文化に彩られた未来に輝くフロンティアシティ・宇城

◆目指すこと
・誰もが暮らしやすい都市づくり
・誇りあるふるさとづくり
・力強い産業づくり
これらを達成するためには市民の皆さんの力が必要不可欠。そのため総合計画には5つの目標が掲げられています。それらを現在進行中の主な事業とともに分野別にご紹介します。

一市民の皆さんと取り組み始めたこと一

【環境共生】
自然と共生するエコタウンの構築
・NPO法人環境保全隊を設立(2006.1.20)

【健康環境】
白寿へいざなうセルフケアの確立
・健康宇城市21計画書を策定(2005.11.5)
・無料MRI脳検診開始(2005.10.7)

【都市基盤、産業経済】
安定した生活・産業のインフラ整備
・九州横断特急停車(2005.10.1)
・空港直行バス運行(2005.10.1)
・企業クラブが発足(2005.4.18)

【安全防災、生活環境、社会福祉】
安全で安心できるライフサポートの充実
・市内全域防災訓練(2005.4.31)
・シルバー人材センターが発足(2005.4.1)

【教育文化、市民協働、行財政運営】
ユニークな文化と心とひとづくり
・国際理解教育特区に認定(2005.11.22)
・伝統文化継承条例を制定(2005.6.30)
・行政懇談会(2005.8.2)
・男女共同参画推進懇話会が発足(2005.3.25)



市が将来にわたって発展していくためには、みんなが力を合わせないと行けないんだ。

